

第 1300 回 2022 年 9 月 28 日(水)  
移動例会 (於)ブックハウスカフェ

プログラム

司会進行  
点鐘  
それでこそロータリー  
ソングリーダー  
ゲストビジター紹介  
ニコニコボックス報告  
会長報告  
幹事報告  
出席報告

西村美智子会員  
木宮 雅徳会長  
傅 健興会員  
笠原健太朗会員  
西村美智子会員  
木宮 雅徳会長  
相倉 辰徳幹事  
西村美智子会員

ゲスト

渡辺 和久会員同行者

三遊亭若圓歌様

ニコニコボックス報告

土居会員 今本さんのお話楽しみです。  
三遊亭若圓歌様、本日はありがとうございます。卓話楽しみにして  
大原会員 今本さん、卓話宜しくお願ひいたします。  
山下会員 本日の今本義子さんの卓話が楽しみ  
です。明治 35 年オープンでしたね。  
計 7,000 円 墨計 348,000 円

会長報告 木宮 雅徳会長

- ・神田一橋中学生の職場体験を、高山本店、ブックハウスカフェ、弊社のブレーンバスターズの 3 社でサポート致します。
- ・地区よりポリオ根絶募金活動の依頼がありますが、当クラブは、10/28~11/3 の古本まつりの初日、10/28 (金) に都知事と千代田区長のご挨拶の後に、募金箱を持って写真撮影を致します。ポリオの T シャツがある方は、着用の上ご参加下さい。

幹事報告 相倉 辰徳幹事

- ・本日、9 月度臨時理事役員会を開催いたしました。入会候補者の加藤 丈晴氏の入会が承認されましたので、本日 7 日間公示を行います。
  - ・次週 10 月 5 日は休会です。10 月 12 日はガバナー補佐訪問で、クラブ協議会は 11 時開催です。委員長の皆様は時間厳守でお願いします。
  - ・ロータリー希望の風へのご協力ありがとうございました。
- <地区関係行事>10 月 4 日、中央分区ゴルフ予選会です。今回は最低人数の 6 名に達しなかったため、団体戦には参加できず、個人戦のみになります。

先週の卓話者 三遊亭若圓歌様

卓話をお引き受けする時に「全会員の名前を入れて、つづり方狂室みたいなもの」と依頼がありましたが、文字にすると微妙にイントネーションが違います。なんとか 36 名の名前を入れましたので、本日は皆様にご披露いたします。

ロータリーの友の紹介 角田 靖会員

ロータリーの友は、バックナンバーでたどる「友」70 年を紹介します。私が、生まれた 1959 年をロータリーの視点から読んでみました。皆様も、自分が生まれた年度の記事を読んでみてください。

イニシエーションスピーチ  
今本 義子会員



私は神保町で「ブックハウスカフェ」という子どもの本の専門店を経営しています。今はインターネットで便利に本を買うことができますので、街の書店の役割は何なのか、考えることもありますが、子供たちが絵本を手に取って選ぶことができる専門店があることが大事だと思い、1 万冊の絵本を取り揃えています。カフェは 60 席あり比較的大きなお店です。

私の実家の北沢書店は、今年 120 年目の書店です。祖父が明治 35 年に開業した時は、国文学の書店でしたが、両親が引き継いでからは洋書専門店になり、英米文学の書物を輸入し販売しておりました。やがてインターネットで本を購入できる時代になり、さらに、大学の科研費がカットされる流れをうけて、新刊を輸入して売る商売は一気に厳しくなりました。その時に北沢書店は 2 階の古書部だけを残し、1 階は小学館に借りて頂き、「ブックハウス神保町」が誕生しました。それが 15 年前のことです。とても素敵なお店でした。このお店は営利目的ではなく、子どもの本の文化のために、神保町にも子供の本専門店があった方が良いとのことで始められました。

しかし、その 11 年愛された店も、一つの役割を果たしたということで 5 年前に撤退が決まりました。店内は広々として、棚が低く作ってあり子どもがお母さんを探せるような設計になっています。私も子育て時期に大変お世話になりました。こういうお店があることが、街にとっても、子どもたちにとっても、素晴らしいことだと思います。私は強く存続を願いました。撤退に際し、店をスケルトンにしてお返ししますという話でしたが、絵本のワンダーランドと思えるような温かい雰囲気で、絵本が色とりどりで遊園地のような楽しいお店を何とか続けたいと思いました。そこで、続けて下さる方を探しましたが、見つかりませんでした。お店が広いのでランニングコストが月 300 万円以上かかってしまうのが大きな原因でした。絵本を売って利益を出せるかというと無理なのです。絵本の利益は 2 割、1000 円の本を売り 200 円の利益。それを積み上げて、このお店を続けるのは大変なことです。結局、私が自分でやることを決心しました。神保町で生まれ育ち、この街が好きでお仕事は楽しくやっておりますが、日々、経営のことが頭から離れず、試練もあります。でも、これが私のミッションだと思って、感謝してお仕事に取り組んでいます。

どうしたら回るか、いろいろ考えてやってきました。本を販売することだけでは足りないので、カフェ、スペース貸し、イベントなどで利益を確保するようにしていました。特にイベントは、子どもたちの紙芝居、読み

聞かせ、トークイベント、手話教室、コンサートなど幅広く企画しました。でも、コロナが感染拡大してからの日々は本当に辛かった。今まででは人との出会いを意識してやってきましたが、私たちのやってきたこと、やりたいことは、全て三密につながることだったのです。そこで、イベントはネット配信でも参加できるようにしたり、今までとは違う方法を、いろいろと試すようになりました。コロナがあつて、改善されたこともあります。

以前は、「こんなお店があつたらいいな」と思って頂きたいと思っていましたが、今は「このお店がないと困る」くらい思ってもらえるような街に必要な存在になりたいと思っています。

また、今は地域貢献や社会貢献が必要なことだと思い工夫しております。例えば、中学生がくつろげる子どもカフェ、また自閉症や身体の不自由なお子さん、お母様、お父様の力になりたいと思い、絵本プロジェクトをいくつか立ち上げています。

振り返ると、経営のド素人の私が引き継ぐことになり、近所の皆様や出版社の方たちにも心配され、「経営の無免許運転」とか「壮大な部活ですね」などと言われたこともあるのですが、全部その通りだと思います。情熱だけでここまでやってきました。もともと接客や子供が好きなので、この仕事をやることができ幸せだと思っています。

1階の絵本の売り場には、2つの部屋があり、常に絵本の原画展を行っています。2階はロータリークラブの例会のようなお集まりに使って頂いたり、講演会、上映会や勉強会などを行っています。グランドピアノを使ってコンサートもします。賑やかにお客様が集う空間です。

5年前、「子どもが絵本に出会う場所」をコンセプトにスタートしましたが、いまは「人が人に出会う場所」でありたいと思います。絵本に囲まれたブックハウスの空間で素敵なご縁が広がっていったら最高だと思います。また、結婚式を開催することもあります。小さな会でしたが心のこもった式でした。閉店後のお店を貸し切りにして、絵本好きな彼女にプロポーズをされたお客様もいらっしゃいました。絵本がもつ温かな空間で、小さなドラマが生まれたら嬉しいです。お客様が幸せなひと時を過ごしてくださって、その時間が心に残るようなお店であります。この街が本の街である限り、頑張って書店を続けて、次の人にバトンを渡すまで、精一杯、役目を果たしたいと思っています。皆様に応援して頂ければ嬉しく思います。

### 出席報告

会員数	37名	ゲスト	1名
出席数	17名	ビジター	0名
ZOOM	3名	合計	21名

### 今後の卓話・行事予定

- 10/19 (水) オンライン例会  
卓話：傅 健興会員
- 10/26 (水) 東京ドームホテル  
ガバナー公式訪問・クラブフォーラム  
卓話：嶋村文男ガバナー
- 11/ 2 (水) 東京ドームホテル  
卓話：種市 摂子様  
「職域のメンタルヘルス対策とテクノロジーの活用」